

世界の倉庫市場動向（～2025年）

【概要】

本調査では、世界の倉庫市場における主要動向と新たなビジネスモデルを分析し、倉庫事業におけるデジタルテクノロジーの破壊的な影響を特定し、2025年までの普及動向の予測を提供します。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2025年までです。

【内容一覧】

調査の範囲と手法

グローバルにおける倉庫業：概況

- グローバルにおける物流産業と倉庫業の役割
- グローバルにおける倉庫市場概況
- グローバルにおける倉庫市場：地域別概況
- グローバルにおける倉庫業：主要市場のレンタル
- グローバルにおける倉庫市場：成長要因
- グローバルにおける倉庫市場：阻害要因
- グローバルにおける倉庫業：主要動向と影響

グローバルにおける倉庫業：地域別概況

- 北米の倉庫業
- 南米の倉庫業
- 欧州の倉庫業
- 中東およびアフリカの倉庫業
- アジア太平洋地域の倉庫業

倉庫業ビジネスモデル

- 倉庫業ビジネスモデル
- ビジネスのオプションとしての倉庫業
- 専用倉庫業モデル：顧客固有ニーズに対応するソリューション
- 柔軟性を高めるための倉庫シェアリングモデル
- オンデマンドウェアハウジングモデル-顧客に近づく
- オンデマンド倉庫技術のスタートアップ-資金調達の見通し
- オンデマンド倉庫サービスを提供する主要ブランド
- フルフィルメントセンター-動作モデル
- サービスとしてのフルフィルメントby Amazon (FBA)

破壊的なデジタル技術

- 倉庫業務に創造的破壊をもたらすデジタル技術
- 法令順守と不正防止のためのブロックチェーン
- 仮想コネクテッドオブジェクトのIoT
- 倉庫業務における拡張現実：変革するピッキングプロセス
- 倉庫業務のデータ分析
- ロボティクスシステム：倉庫業務の信頼できる担い手
- 3D印刷：デジタルインベントリ
- 倉庫在庫確認でのドローン利用

将来の倉庫管理

- ビジネスモデル：ストレージと倉庫の未来
- 未来の倉庫の特徴
- デジタル技術によるビジネスへの影響
- デジタル技術の普及シナリオ

成長機会と企業への提言

結論

付録

フロスト&サリバンについて